NY マーケットレポート（2016 年 2 月 1 日）

NY 市場では、欧米の株価が下落したことや、米経済指標の冴えない結果が続いたことから、ドル円・クロス円は序盤から軟調な動きとなった。また、原油先物価格が大きく下落したことも影響した。その後、株価が下げ幅を縮小したことや、米長期債利回りが上昇し、日米の金利差拡大が意識されたことから、ドル買い・円売りの動きが優勢となり、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。ただ、米ドルは、米経済の先行き不安や、米 FRB 副議長の発言が影響して、主要通貨に対してやや軟調な動きとなった。

2016/2/1（月）

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	121.22	121.49	121.12
EUR/JPY	131.48	131.67	131.25
GBP/JPY	172.95	173.18	172.44
AUD/JPY	85.61	85.96	85.31
EUR/USD	1.0846	1.0857	1.0814

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	121.42	121.07
EUR/JPY	131.95	131.36
GBP/JPY	173.55	172.61
AUD/JPY	85.87	85.58
EUR/USD	1.0880	1.0841

＊LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17865.23	+346.93
ハンセン指数	19595.50	-87.61
上海総合	2688.85	-48.75
韓国総合指数	1924.82	+12.76
豪ASX200	5043.59	+38.06
インドSENSEX指数	24824.83	-45.86
シンガポールST指数	2602.41	-26.70

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6060.10	-23.69
仏CAC40	4392.33	-24.69
独DAX	9757.88	-40.23
ST欧州600	341.61	-0.66
西IBEX35指数	8788.50	-27.30
伊FTSE MIB指数	18485.95	-171.34
南ア 全株指数	49055.54	-86.40

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	121.02	121.34	120.69
EUR/JPY	131.79	132.02	131.62
GBP/JPY	174.67	175.02	173.02
AUD/JPY	86.11	86.22	85.30
NZD/JPY	79.35	79.40	78.32
EUR/USD	1.0892	1.0913	1.0873
AUD/USD	0.7114	0.7120	0.7062

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16449.18	-17.12
S&P500	1939.38	-0.86
NASDAQ	4620.37	+6.41
日経225（CME）	17740	-110
トロント総合	12674.37	-147.76
ボルサ指数	休　場	
ボベスパ指数	40570.04	+164.05

＊メキシコ市場はConstitution Dayで休場

2/2 経済指標スケジュール

08:50 【日本】1月マネタリーベース
09:00 【ニュージーランド】1月ANZ商品価格指数
12:30 【オーストラリア】政策金利発表
17:15 【スイス】12月実質小売売上高
17:30 【香港】12月小売売上高
17:55 【ドイツ】1月失業率
17:55 【ドイツ】1月失業者数
18:30 【英国】1月建設業PMI
19:00 【欧州】12月生産者物価指数
19:00 【欧州】12月失業率
22:00 【シンガポール】1月電子産業指数
22:00 【シンガポール】1月購買部景気指数
23:45 【米国】1月ISMニューヨーク
00:00 【米国】2月IBD/TIPP景気楽観指数
03:00 【メキシコ】1月IMEF製造業指数
03:00 【メキシコ】1月IMEF非製造業指数

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1127.90	+11.50
NY 原油	31.62	-2.00
CMEコーン	371.25	-0.75
CBOT 大豆	880.75	-1.50

米国債利回り	本　日	前　日
2年債	0.80%	0.77%
3年債	1.00%	0.97%
5年債	1.37%	1.33%
7年債	1.71%	1.67%
10年債	1.95%	1.92%
30年債	2.76%	2.75%

2/2 主要会議・講演・その他予定

・カンザスシティー連銀総裁 講演

（出所：SBILM）

NY 市場レポート

22:00
ドル/円　121.28　　ユーロ/円　131.93　　ユーロ/ドル　1.0879

22:00
欧州株式市場・米株価指数先物

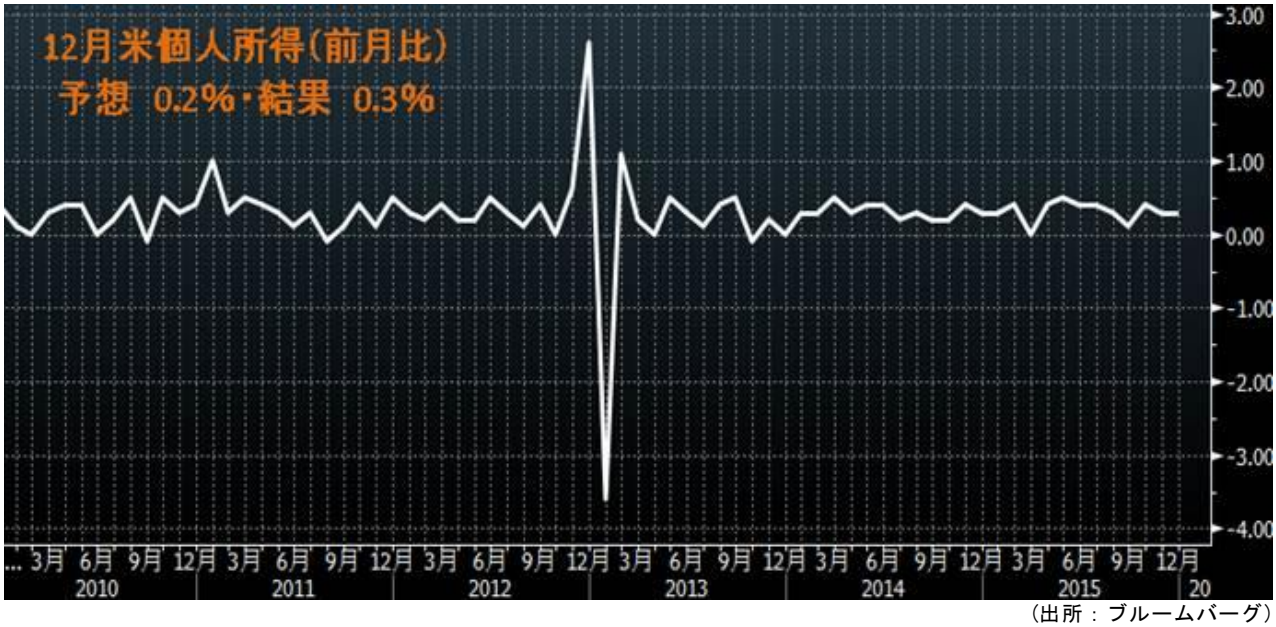
欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6006.40	-77.39	ダウ 先物ミニ	16253	-103
仏 CAC40	4359.03	-57.99	S&P 500 ミニ	1916.50	-13.50
独 DAX	9676.76	-121.35	NASDAQ 100 ミニ	4236.75	-26.25

(出所:SBILM)

22：30
≪ 経済指標の結果 ≫

12 月米個人所得（前月比）　0.3%（予想　0.2%・前回　0.3%）

12 月米個人支出（前月比）　0.0%（予想　0.1%・前回　0.5%）
前回発表の 0.3%から 0.5%に修正



（出所：ブルームバーグ）

（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ
≪米個人所得・支出≫

	12月・	11月・	10月・	9月・	8月・	7月
個人所得・・・・・	0.3・・	0.3・・	0.4・・	0.2・・	0.4・・	0.4
賃金・給与・・・・	0.2・・	0.5・・	0.6・・	0.0・・	0.4・・	0.5
可処分所得・・・・	0.3・・	0.2・・	0.3・・	0.2・・	0.4・・	0.5
個人消費支出・・・	0.0・・	0.5・・	0.0・・	0.2・・	0.3・・	0.3
個人貯蓄率・・・・	5.5・・	5.3・・	5.5・・	5.2・・	5.2・・	5.1

22：30
≪ 経済指標の結果 ≫

12月米PCEデフレーター（前年比） 0.6%（予想 0.6%・前回 0.4%）

12月米PCEコア・デフレーター（前月比） 0.0%（予想 0.1%・前回 0.2%）
前回発表の0.1%から0.2%に修正

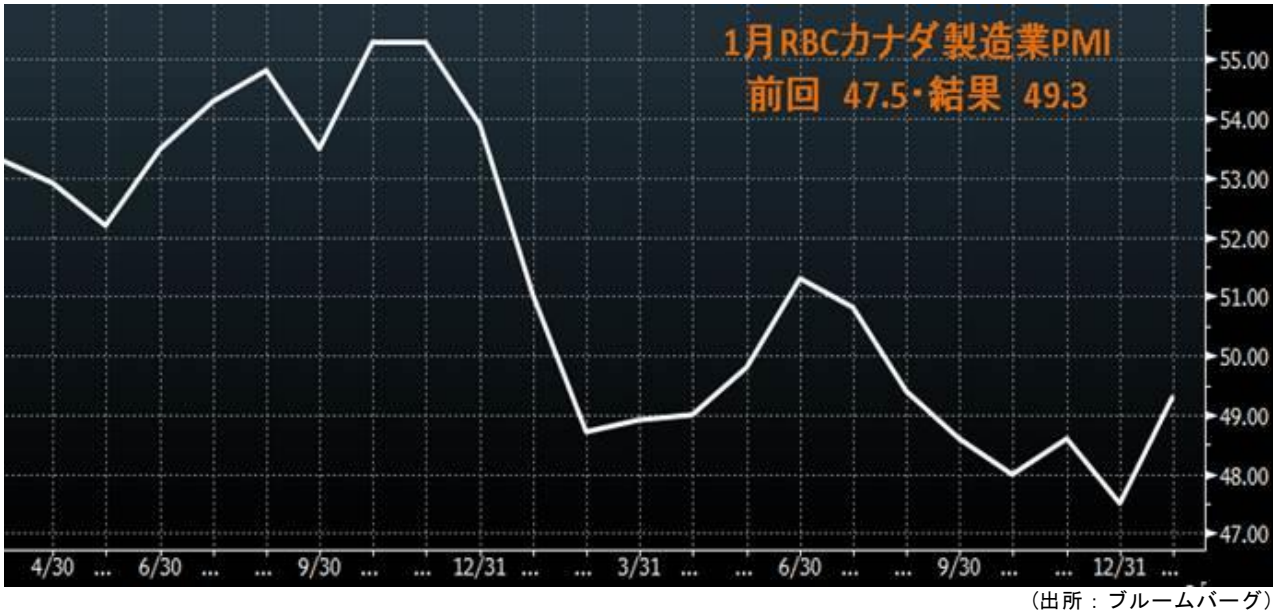
12月米PCEコア・デフレーター（前年比） 1.4%（予想 1.4%・前回 1.4%）
前回発表の1.3%から1.4%に修正

(出所：ブルームバーグ)

(出所：ブルームバーグ)

23：30
≪ 経済指標の結果 ≫

1月 RBC カナダ製造業 PMI　49.3（前回　47.5）



（出所：ブルームバーグ）

23：33
米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16340.49	-125.81
ナスダック	4584.67	-29.28

（出所：SBILM）

23：45
≪ 経済指標の結果 ≫

1月マークイット米国製造業 PMI　52.4（予想　52.7・前回　52.7）

（出所：ブルームバーグ）

0：00
≪ 経済指標の結果 ≫

1月ISM製造業景況指数　48.2（予想　48.5・前回　48.0）
前回発表の48.2から48.0に修正

（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ
≪米ISM製造業景況指数≫

	1月・・	12月・・	11月・・	10月・・	9月・・	8月
景気・・・・・・	48.2・・	48.0・・	48.4・・	49.4・・	50.0・・	51.0
価格・・・・・・	33.5・・	33.5・・	35.5・・	39.0・・	38.0・・	39.0
生産・・・・・・	50.2・・	49.9・・	49.8・・	52.5・・	51.4・・	54.0
新規受注・・・・	51.5・・	48.8・・	49.0・・	50.8・・	49.8・・	51.7
受注残・・・・・	43.0・・	41.0・・	43.0・・	42.5・・	41.5・・	46.5
入荷遅延・・・・	50.0・・	49.8・・	49.6・・	49.7・・	49.9・・	50.4
在庫・・・・・・	43.5・・	43.5・・	43.0・・	46.5・・	48.5・・	48.5
雇用・・・・・・	45.9・・	48.0・・	50.8・・	47.7・・	50.2・・	50.5

0：00
≪ 経済指標の結果 ≫

12月米建設支出（前月比）　0.1%（予想　0.6%・前回　-0.6%）
前回発表の-0.4%から-0.6%に修正

（出所：ブルームバーグ）

0：30
≪ NY 株式市場　序盤≫

序盤の株式市場は、中国の景況感指数が低調だったことを背景に、中国景気の失速懸念が強まったことが材料視され、主要株価は軟調な動きとなった。また、米建設支出が市場予想を大きく下回ったことによる米経済の先行き不安も圧迫材料となった。ダウ平均株価は、一時前週末比で 166 ドル安まで下落している。

≪ 経済指標のポイント ≫

（1）12 月の米個人所得・消費統計では、個人消費支出は前月比横ばいとなり、市場予想の+0.1%を下回った。一方、個人所得は+0.3%となり、市場予想の 0.2%を上回った。雇用改善が続き所得は増加しているものの、暖冬で冬物衣料などの販売が振るわず、自動車や家具などの耐久財もマイナスとなった。また、消費よりも貯蓄を優先する傾向が強まっていることも、個人消費を抑える要因となった。

①耐久財は-0.9%となり、2015 年 6 月以来の大きな減少率となり、食品やエネルギーなどの非耐久財も-0.9%となった。また、サービスは+0.4%となった。

②税金の支払いなどを除いた可処分所得は+0.3%、貯蓄率は前月から+0.2 ポイント上昇の 5.5%となった。

③FRB が物価安定の目安とする 12 月の個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同月比で+0.6%となり、2014 年 12 月以来の高水準となったが、目標の+2.0%は引き続き下回った。変動の激しい食品とエネルギーを除いた PCE コア物価指数は、前年同月比+1.4%となった。

（2）1 月の ISM 製造業景況指数は、市場予想を下回る 48.2 となり、製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる 50 を 4 ヵ月連続で下回った。ただ、6 ヵ月連続の低下が止まり、若干の改善となった。

①構成指数では、生産が 50.2（前月 49.9）、新規受注が 51.5（48.8）、受注残が 43.0（41.0）と前月から改善したが、雇用は 45.9（48.0）と悪化し 2009 年 7 月以来の低水準となった。また、仕入れ価格は 33.5（前月 33.5）、在庫は 43.5（43.5）、顧客在庫は 51.5（51.5）は変わらずとなった。

②18 業種中「繊維」「木製品」など 8 業種で景況拡大を報告。業況が縮小したのは「衣料・皮革製品」「非金属鉱物製品」「石油・石炭製品」など 10 業種だった。

（3）12 月の米建設支出は、年率換算で前月比+0.1%の 1 兆 1165 億 7000 万ドルとなり、市場予想の+0.6%を大きく下回る結果となった。前年同月比では+8.2%。住宅以外の落ち込みにより民間部門がマイナスとなり、全体を圧迫した。

①民間の建設支出は、前月比-0.6%の 8240 億 2600 万ドルとなった。2014 年 6 月以来の大きな減少率となり、前年同月比では+9.9%だった。民間では、住宅建設が+0.9%の 4296 億 600 万ドルと金額ベースで 2007 年 11 月以来の高水準となった。住宅以外の建設は前月比-2.1%の 3944 億 2000 万ドルと 2 ヵ月連続のマイナスとなり、2013 年 1 月以来の大きな落ち込みとなった。宿泊、商業、オフィス、医療、教育、宗教関連など幅広い分野で減少した。

②連邦政府など公共部門の建設支出は、前月比+1.9%の 2925 億 4500 万ドル。前年同月比では+3.9%。州・地方政府が前月比+2.3%、連邦政府は-3.3%と 2 ヵ月連続のマイナスだった。

1：20
≪　要人発言　≫
ドラギ ECB 総裁～ストラスブールの欧州議会で発言

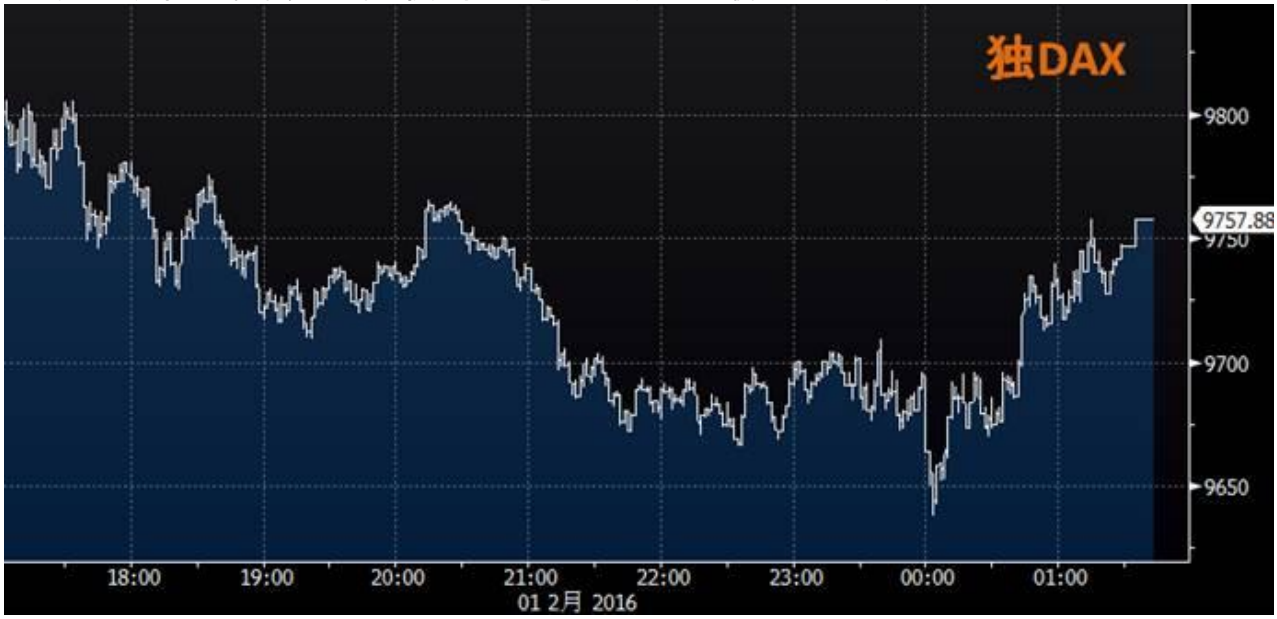
・「ECB は政策スタンスを検証し 3 月に再検討も」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6060.10	-23.69
仏 CAC40	4392.33	-24.69
独 DAX	9757.88	-40.23
ストック欧州 600 指数	341.61	-0.66
ユーロファースト 300 指数	1344.75	-3.33
スペイン　IBEX35 指数	8788.50	-27.30
イタリア　FTSE MIB 指数	18485.95	-171.34
南ア　アフリカ全株指数	49055.54	-86.40

（出所：SBILM）

≪欧州株式市場≫

欧州株式市場は、中国の景況指標悪化で中国経済先行きに警戒感が広がったことから、主要株価が軟調な動きとなった。また、原油先物相場の下落も投資家心理を圧迫し、売りが優勢となった。



（出所：ブルームバーグ）

2：00
米主要株価・中盤
ダウ　16384.91（-81.39）、S&P500　1933.56（-6.68）　ナスダック　4593.59（-20.36）

≪欧州のポイント≫

①クーレ ECB 専務理事は、EU の執行機関である欧州委員会がユーロ圏の財務省としての役割を果たすべきとの見解を明らかにした。専務理事は「われわれがユーロの持続的な成功を真剣に望んでいることを人々や企業や市場に示すために、欧州の経済・通貨統合実現に向けた強力な政治的意思が必要だ」と強調した。欧州委員会の内部か、別組織としてユーロ圏の財務省を設立することや、ユーロ圏レベルで立法を可能にすることのほか、ESM（欧州安定メカニズム）などの機関に説明責任を持たせることを提案した。また欧州の回復を構造的なものとし、潜在成長力を高め、構造的な失業を減らす上で、金融政策だけでは不十分との認識を示した。

②ギリシャ政府高官は、2015 年の同国の基礎的財政収支が想定に反して小幅ながら黒字になるとの見通しを示した。高官は「歳入が予想を上回ったため」と説明。「財政赤字を埋めるための国際債権団との交渉により良い影響をもたらすだろう」と述べた。金融支援の条件として債権団と合意したプライマリーバランスの目標は、2015 年が対 GDP 比 0.25%の赤字と想定。2016 年が 0.5%、2017 年が 1.75%、2018 年が 3.5%の黒字としていた。

≪ NY 債券市場 ・午前≫

序盤のニューヨーク債券市場は、前週末の上昇を受けて、一旦利益を確定させる売りが先行した。ただ、中国の 1 月の景況感指数が悪化し、中国経済の減速懸念から米国債に逃避的な買いが入る場面もあり、相場の下げ幅は限定的となった。

午前の利回りは、30 年債が 2.78%（前週末 2.75%）、10 年債が 1.96%（1.92%）、7 年債が 1.71%（1.67%）、5 年債が 1.37%（1.33%）、3 年債が 1.00%（0.97%）、2 年債が 0.80%（0.78%）。

ECB 公的部門購入プログラム

	1 月 29 日	1 月 22 日	1 月 15 日	1 月 8 日	1 月 1 日	12 月 25 日
公的部門	5441.7	5296.5	5156.7	4999.0	4912.2	4930.5
資産担保証券 ABS	175.9	157.9	154.0	153.5	153.2	154.5
カバード債	1505.4	1488.6	1460.1	1439.3	1433.4	1438.2

（億ユーロ）

3：15
≪　要人発言　≫
フィッシャーFRB 副議長

・「低インフレは幾分か長引く可能性が高い」
・「世界経済の成長減速は、米見通しに影響も」
・「大規模なバランスシートは、当面の維持に利点」
・「市場のボラティリティは、現時点で影響判断は難しい」

・「利上げは緩やかなペースになるだろう」
・「FOMC は利上げ回数を決めていない」
・「マイナス金利は私が予想したよりも機能している」

4：30
NY 金は、中心限月が前日比 11.50 ドル高の 1 オンス＝1127.90 ドルで取引を終了した。

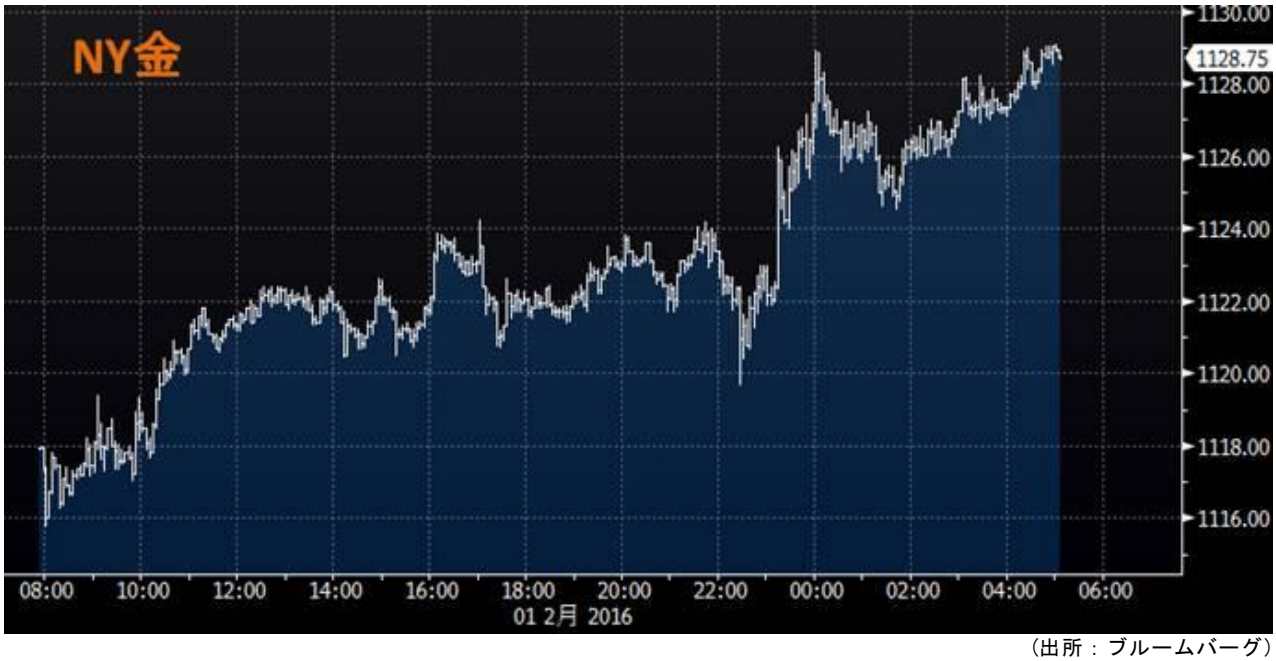
5：15
NY 原油は、中心限月が前日比 2.00 ドル安の 1 バレル＝31.62 ドルで取引を終了した。

主要商品	終　値	前日比
NY GOLD	1127.90	+11.50
NY　原油	31.62	-2.00

（出所：SBILM）

≪ NY 金市場 ≫

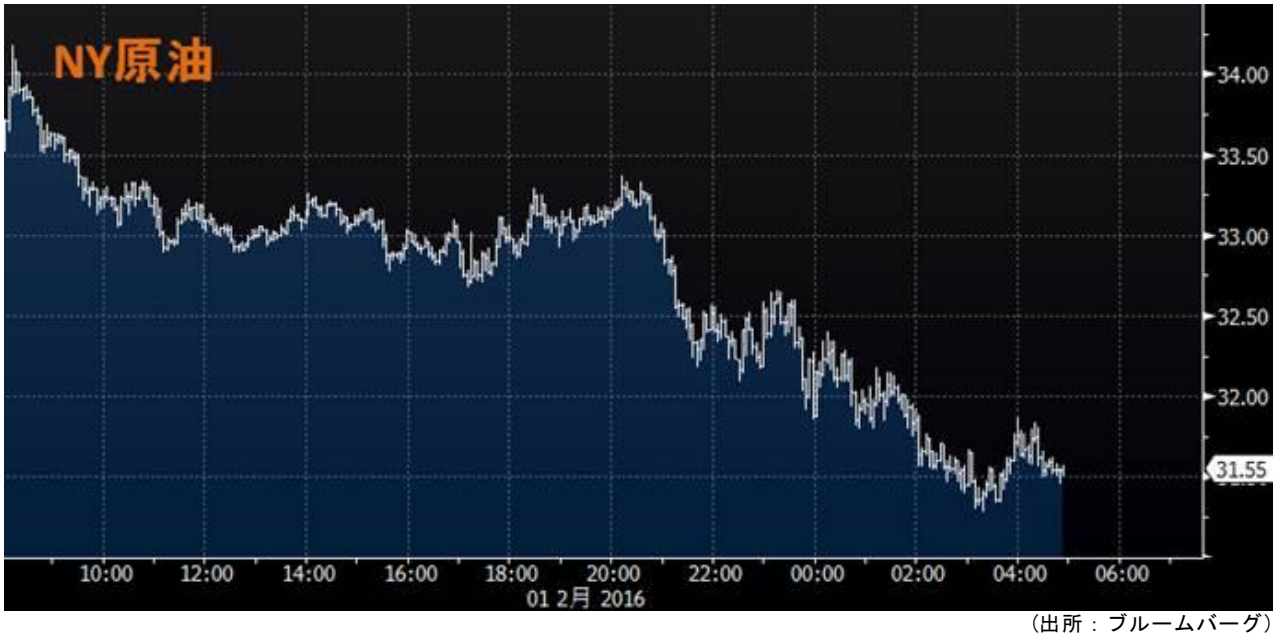
ＮＹ金は、中国の製造業関連の景況指数が悪化したことで中国経済の減速があらためて意識され、比較的安全な資産とされる金を買う動きが優勢となった。終値ベースでは、昨年 11 月上旬以来、約 3 ヵ月ぶりの高値水準となった。



（出所：ブルームバーグ）

≪ NY 原油市場 ≫

ＮＹ原油は、中国の製造業景況感指数が低調だったことを手掛かりに、同国景気の減速に伴う原油需要の減少懸念が強まり、売りが先行した。また、OPEC が減産に向けて動く可能性は低いとの見方も圧迫材料となった。



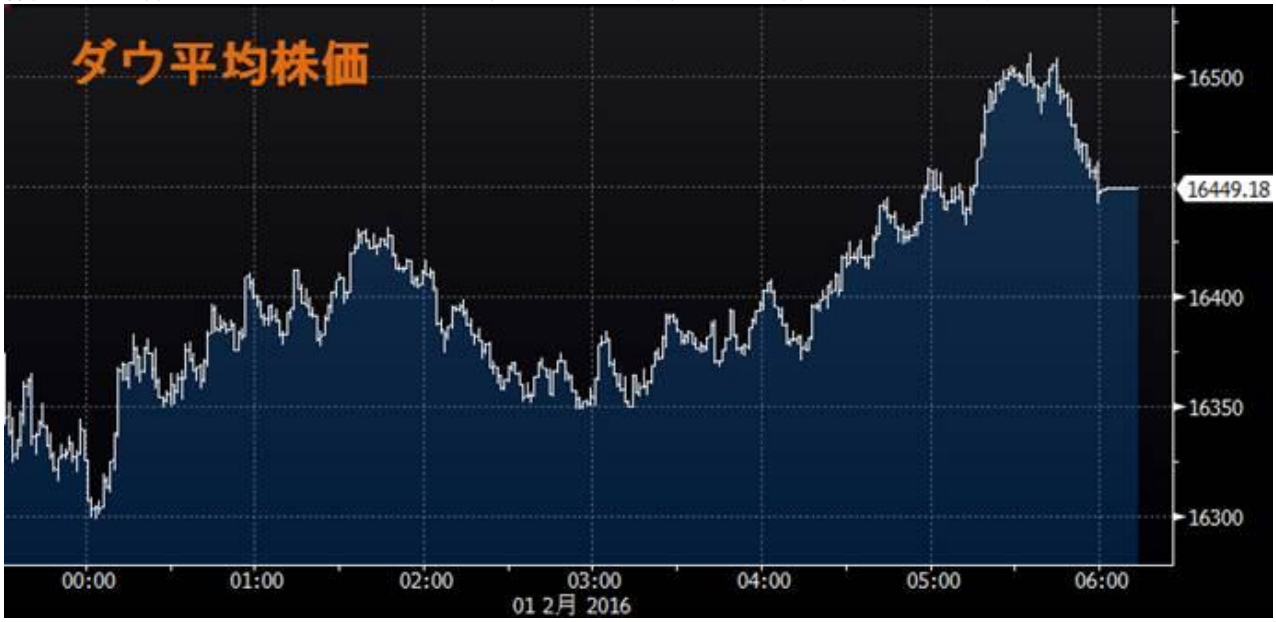
（出所：ブルームバーグ）

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16449.18	-17.12	16510.98	16299.47
S&P500 種	1939.38	-0.86	1947.20	1920.30
ナスダック	4620.37	+6.41	4636.93	4565.38

(出所:SBILM)

≪米株式市場≫

米株式市場は、中国の景況感指数が低調だったことを背景に、中国景気の失速懸念が強まったことが材料視され、主要株価は軟調な動きとなった。また、米建設支出が市場予想を大きく下回ったことによる米経済の先行き不安も圧迫材料となった。ただ、午後には下げ幅を縮小する動きとなり、プラス圏まで値を戻す動きとなった。ダウ平均株価は、一時前週末比で 166 ドル安まで下落したものの、その後は堅調な動きとなった。



（出所：ブルームバーグ）

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	121.02	121.34	120.69
EUR/JPY	131.79	132.02	131.62
GBP/JPY	174.67	175.02	173.02
AUD/JPY	86.11	86.22	85.30
NZD/JPY	79.35	79.40	78.32
EUR/USD	1.0892	1.0913	1.0873
AUD/USD	0.7114	0.7120	0.7062

（出所：SBILM）

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、欧米の株価が下落したことや、米経済指標が冴えない結果となったこと、また、原油価格が下落したことも影響し、序盤のドル円・クロス円は軟調な結果となった。その後は、株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、値を戻す動きとなったものの、原油価格が終盤まで下げ幅を拡大する動きとなったこともあり、上値の重い動きとなった。

（出所：ブルームバーグ）

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社
お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。